

意見書案第3号

少人数学級の実現を求める意見書案

上記の意見書案を提出する。

令和2年(2020年)10月14日

提出者 角 井 英 明

賛成者 辻 真理子

賛成者 中 川 睦 子

少人数学級の実現を求める意見書

新型コロナウイルス感染症は、こどもたちの学びに大きな負担を強いることになりました。学校再開後はマスクをつけての授業や夏休みの短縮などが行われましたが、現在の40人学級では、新型コロナ感染症予防のための児童・生徒の十分な身体的距離の確保は困難な状況です。これから必要となるこどもたちへのケアや学習の遅れへの対応も、40人学級ではむずかしいと考えます。分散登校中の少人数学級の実施により、先生は、こどもたち一人ひとりの顔がよく見えることや、こどもたちは、授業の理解が深まることを実感しました。

そうした状況のもとで、7月2日、全国知事会会長、全国市長会会長、全国町村会会長の三者が連名で、「新しい学びの環境整備に向けた緊急提言」を発表しました。提言は、「現在の40人学級では、感染症予防のために児童・生徒間の十分な距離を確保することが困難であることから」、今後予想される感染症の再拡大期にあっても必要な教育活動を継続して、こどもたちの学びを保障するには、少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるような教員の確保が必要であると強調し、少人数編成を可能とする教員の確保など財政措置の拡充を求めています。

また、「少人数学級化を求める教育研究者有志」は、7月16日、①安心・安全な少人数学級のすみやかな実施 ②授業を詰め込みすぎず、仲間との学びと豊かな学校生活の保障を求める署名の提起をしています。

政府の骨太方針の閣議決定にも、少人数指導体制の整備がはじめて盛り込まれました。これを受けて、教育条件を抜本的に改善し、豊かな学びとこどもたちの安全安心の学校生活を保障する

ために、国の責任で少人数学級を実現されるよう強く要望します。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

令和 2 年(2020 年)10 月 14 日

彦 根 市 議 会

内閣総理大臣 殿

文部科学大臣 殿